



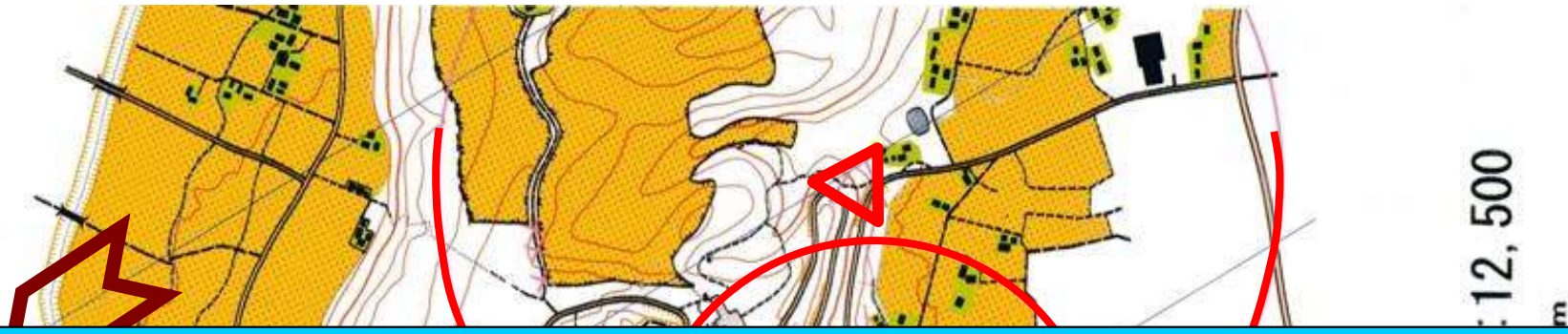
第19回

F 競技大会  
MHz

# 第19回下野の国大会(3.5MHz) での私の判断と行動

2013年4月20日(土)  
於 栃木県南那須三箇の森

安島 巧



主要道路	—
道路	—
道	—
小径	—
不明瞭な小径	—
住宅地・建物	■
建造物	■
大・小岩	■
鉄塔・人工物	+
フェンス	+
岩盤・土崖	■
耕作地	■
開けた土地	■
荒れた開けた土地	■
川	—
湿地帯	■
沼・池	■
立ち入り禁止	■

- スタート (triangle symbol)
- ビーコン (circle symbol)
- フィニッシュ (circle symbol)

# 初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

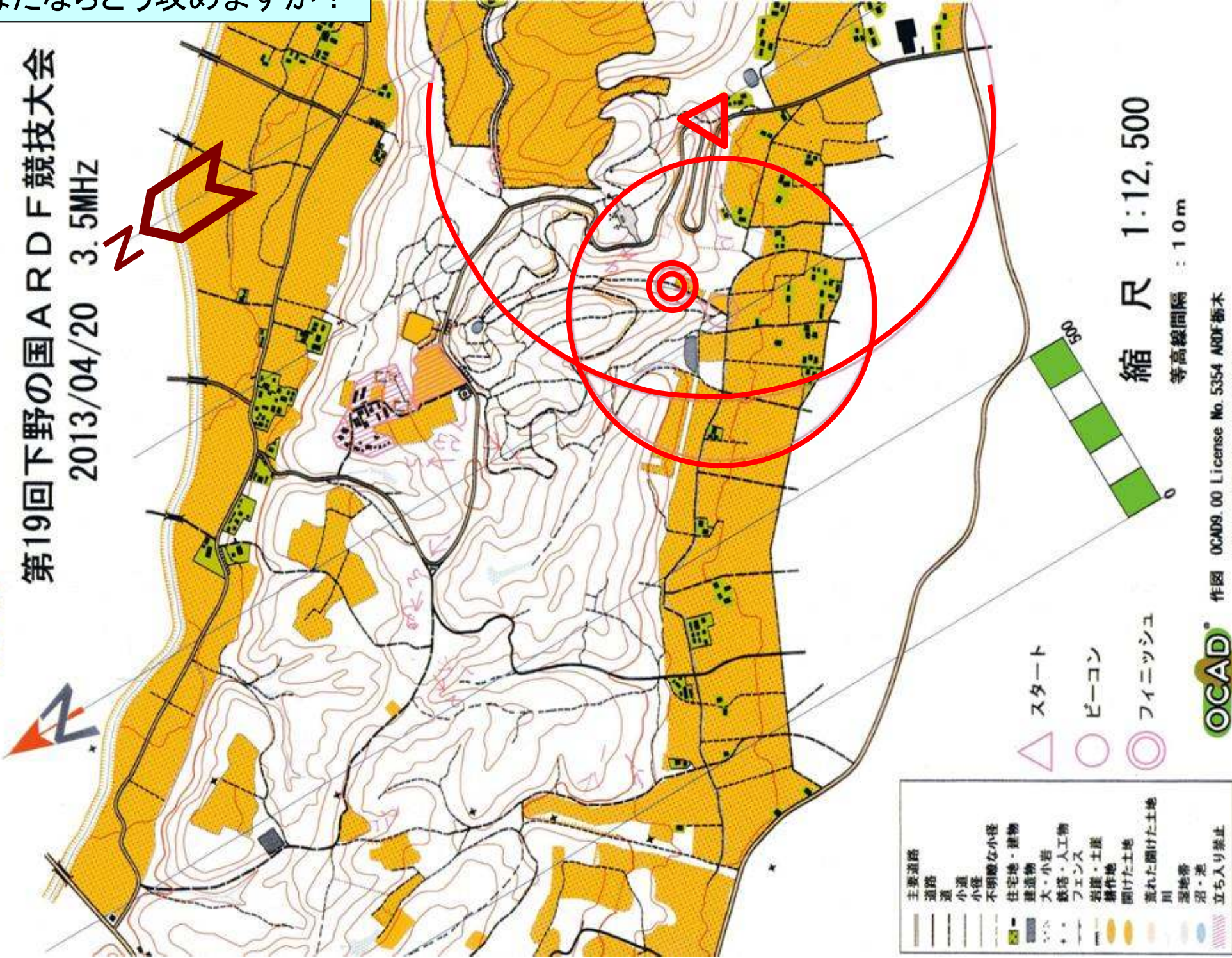


# 南那須 三箇の森

## 第19回下野の国ARDF競技大会

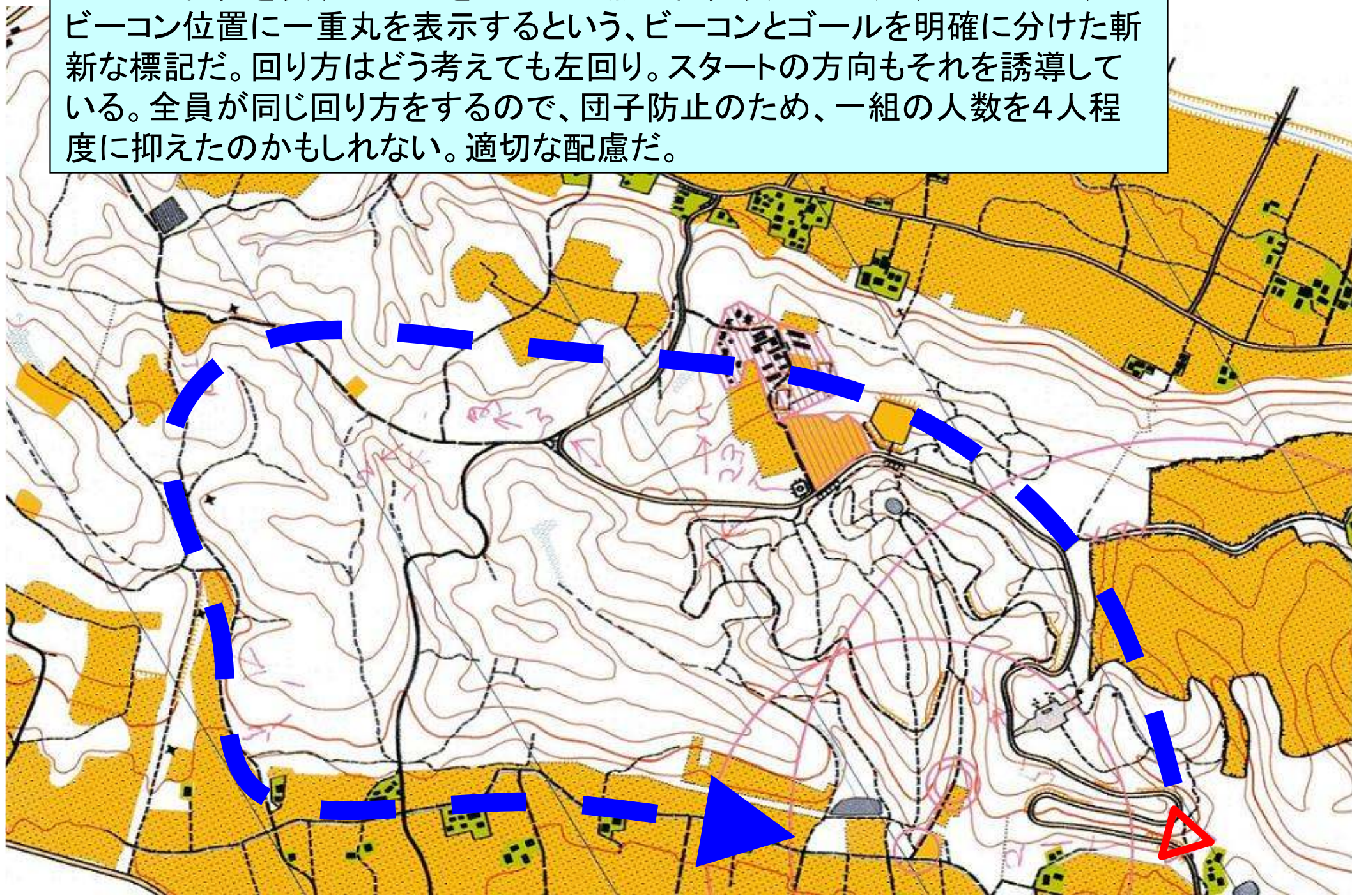
2013/04/20 3.5MHz

あなたならどう攻めますか？



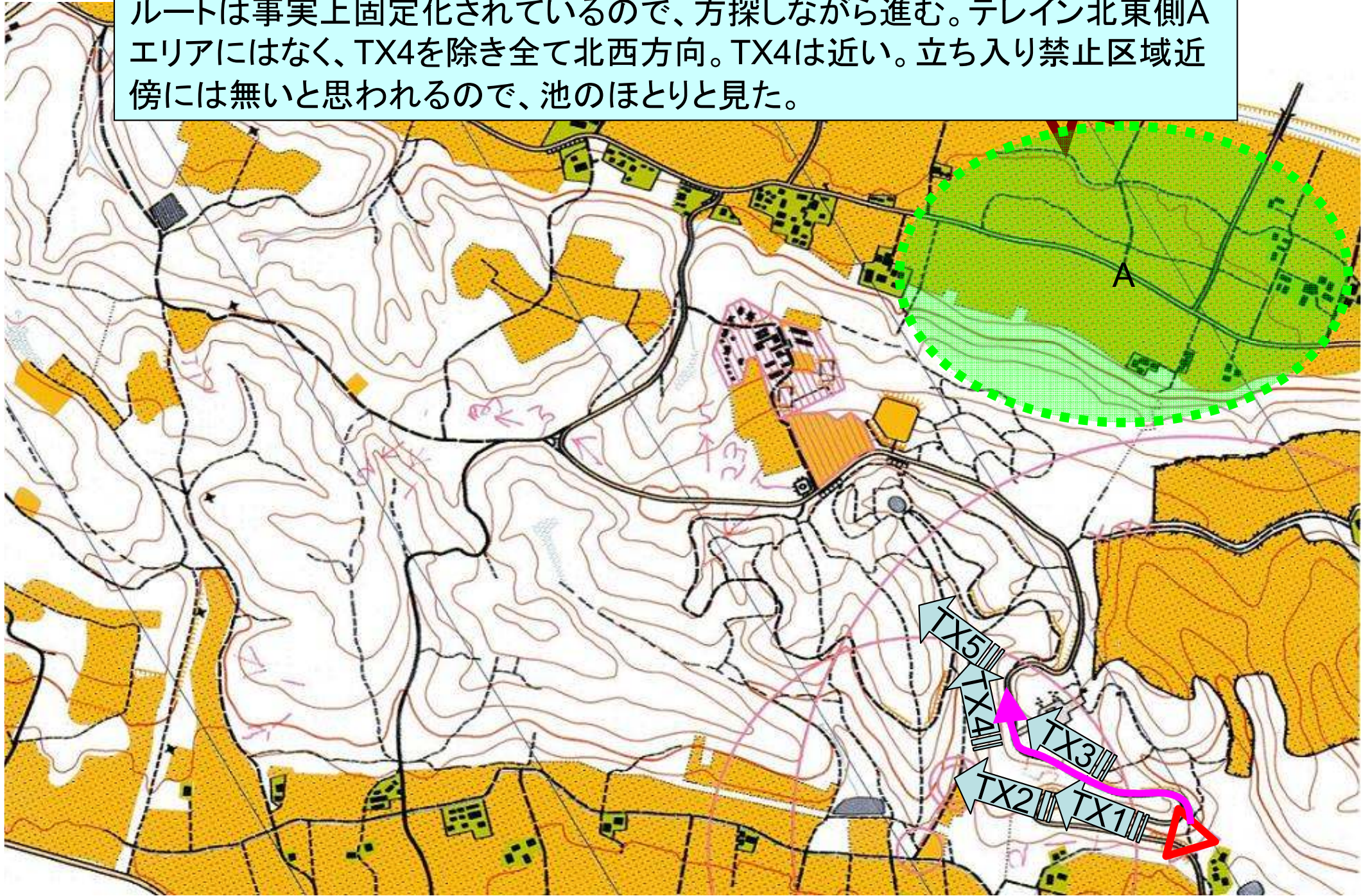
### ①スタート前の地図読み

ビーコン位置を表す二重丸をゴール地点の位置表示に代用するとともに、ビーコン位置に一重丸を表示するという、ビーコンとゴールを明確に分けた斬新な標記だ。回り方はどう考えても左回り。スタートの方向もそれを誘導している。全員が同じ回り方をするので、団子防止のため、一組の人数を4人程度に抑えたのかもしれない。適切な配慮だ。



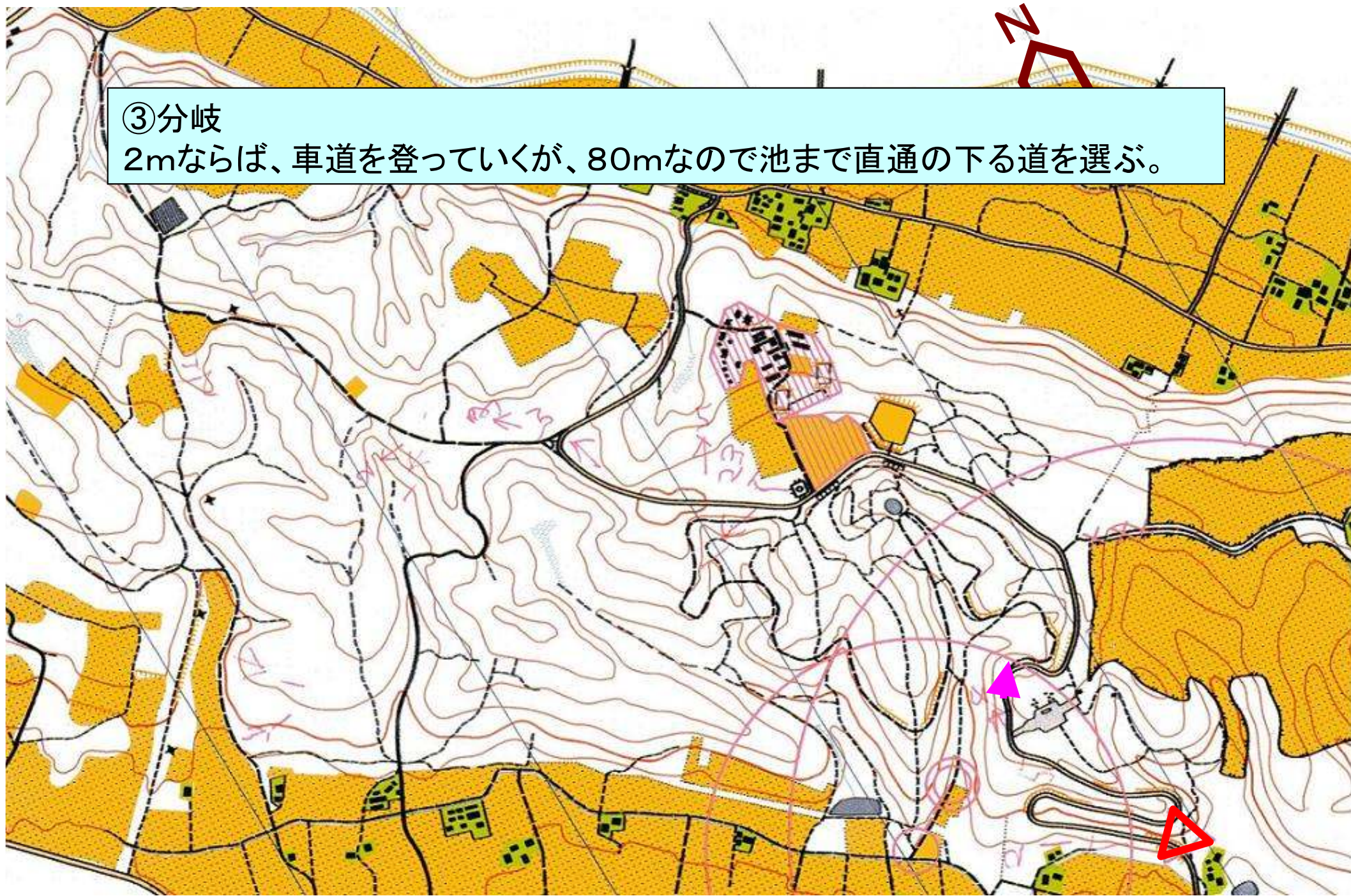
## ②探索開始地点

ルートは事実上固定化されているので、方探しながら進む。トレイン北東側Aエリアにはなく、TX4を除き全て北西方向。TX4は近い。立ち入り禁止区域近傍には無いと思われるので、池のほとりと見た。



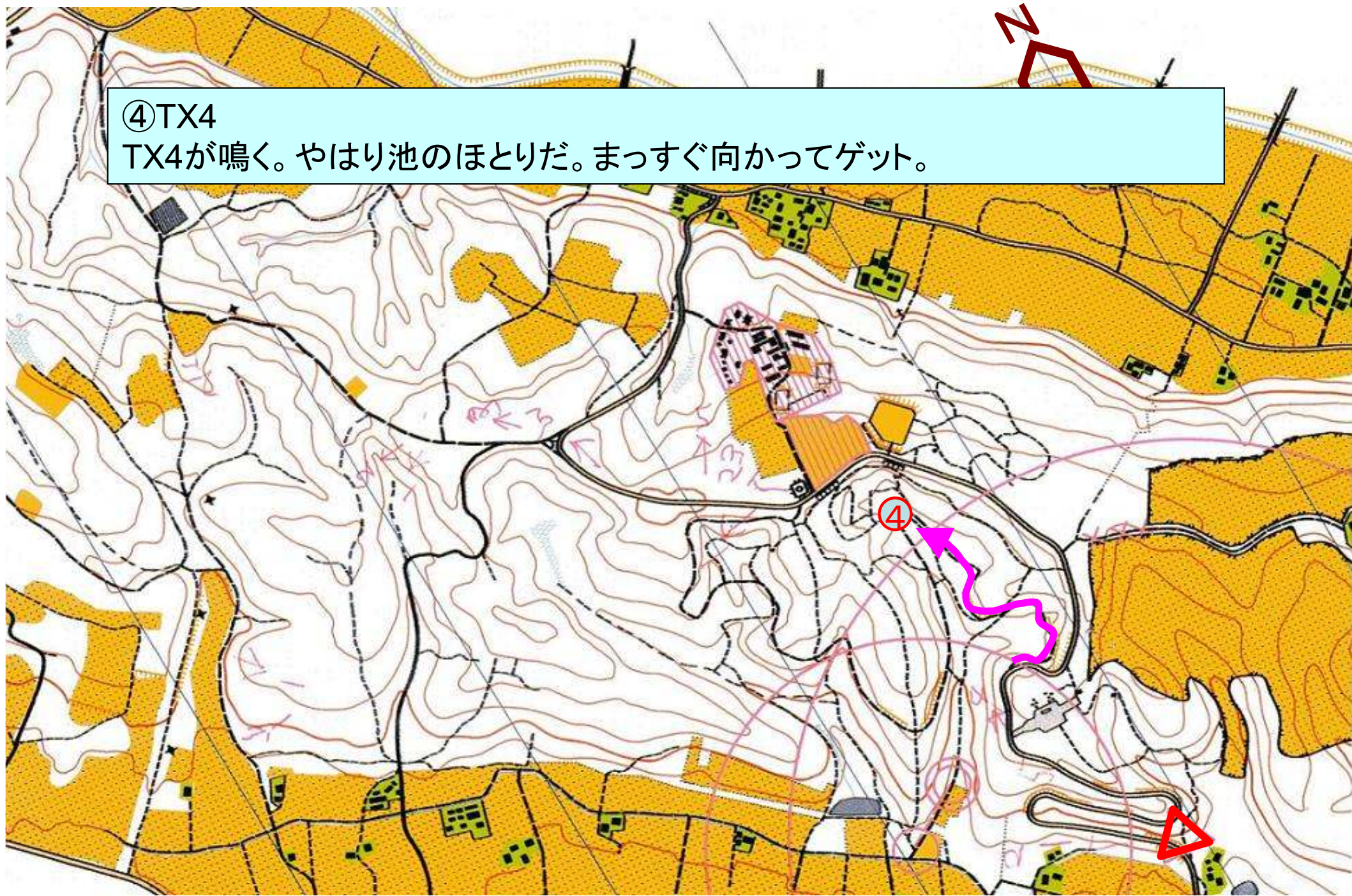
### ③分岐

2mならば、車道を登っていくが、80mなので池まで直通の下る道を選ぶ。



④TX4

TX4が鳴く。やはり池のほとりだ。まっすぐ向かってゲット。



⑤車道に上がる

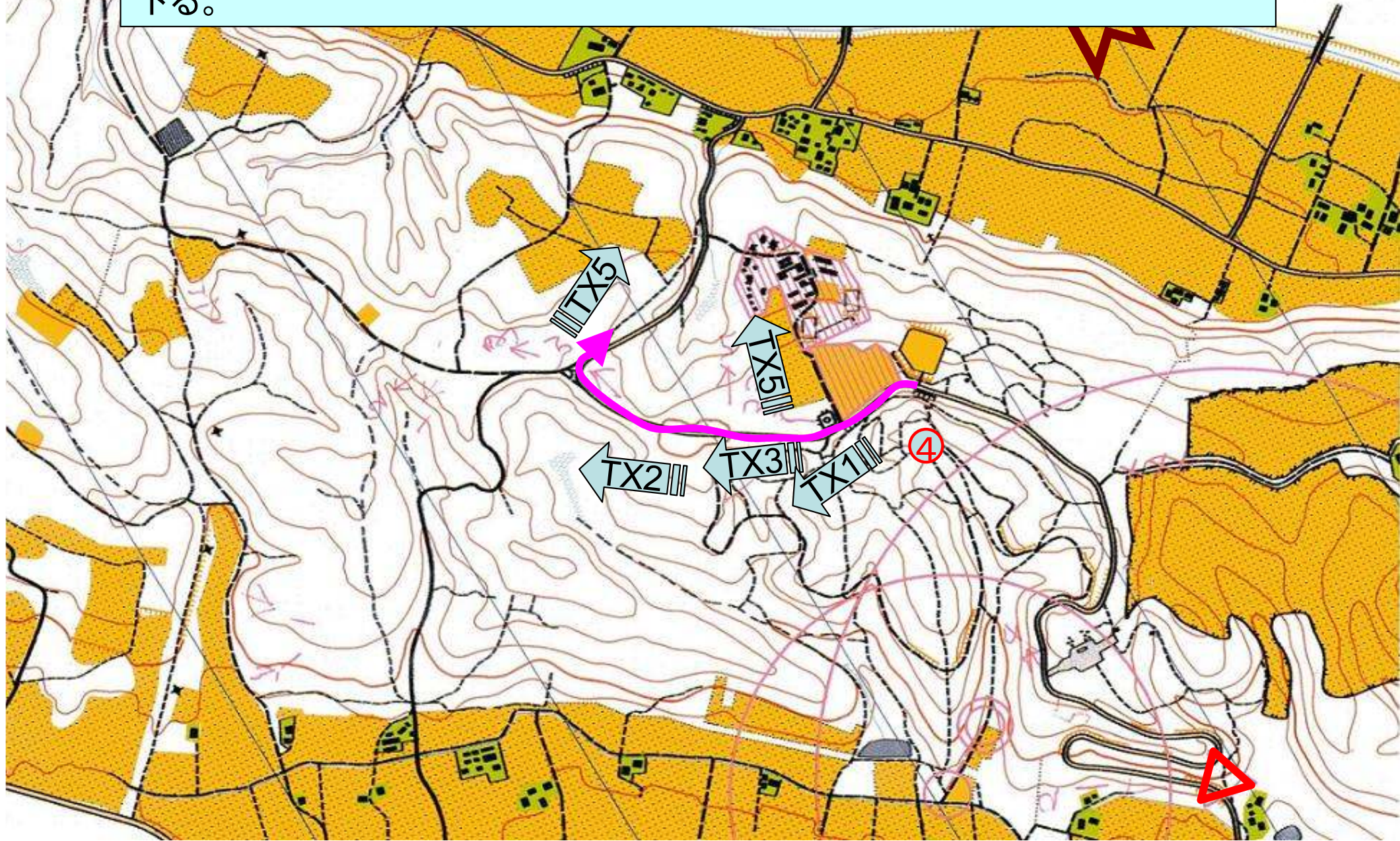
最も上がりやすい道を探し登る。結構ハード。今日の半分の体力を遣ってしまった気がする。

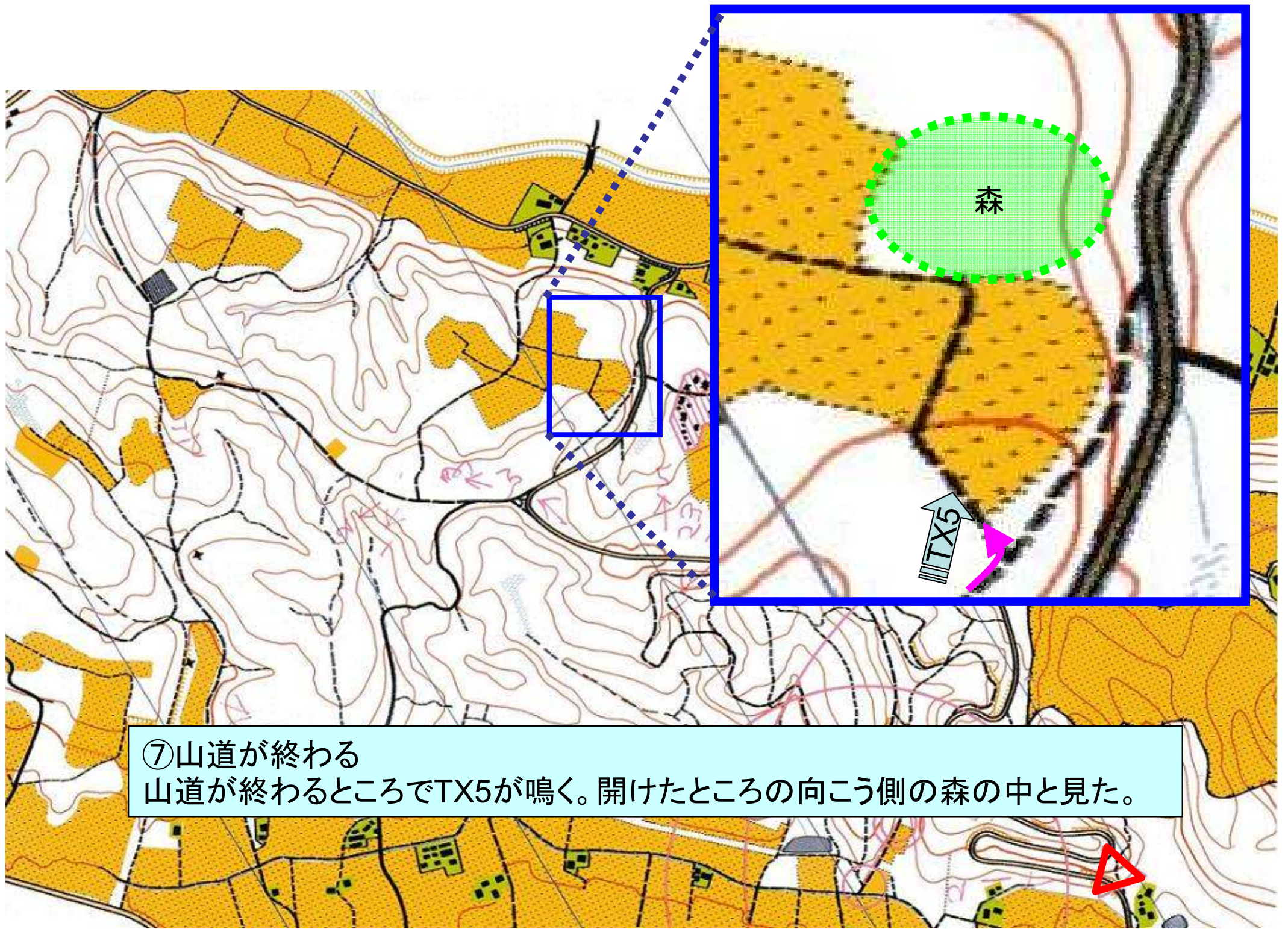




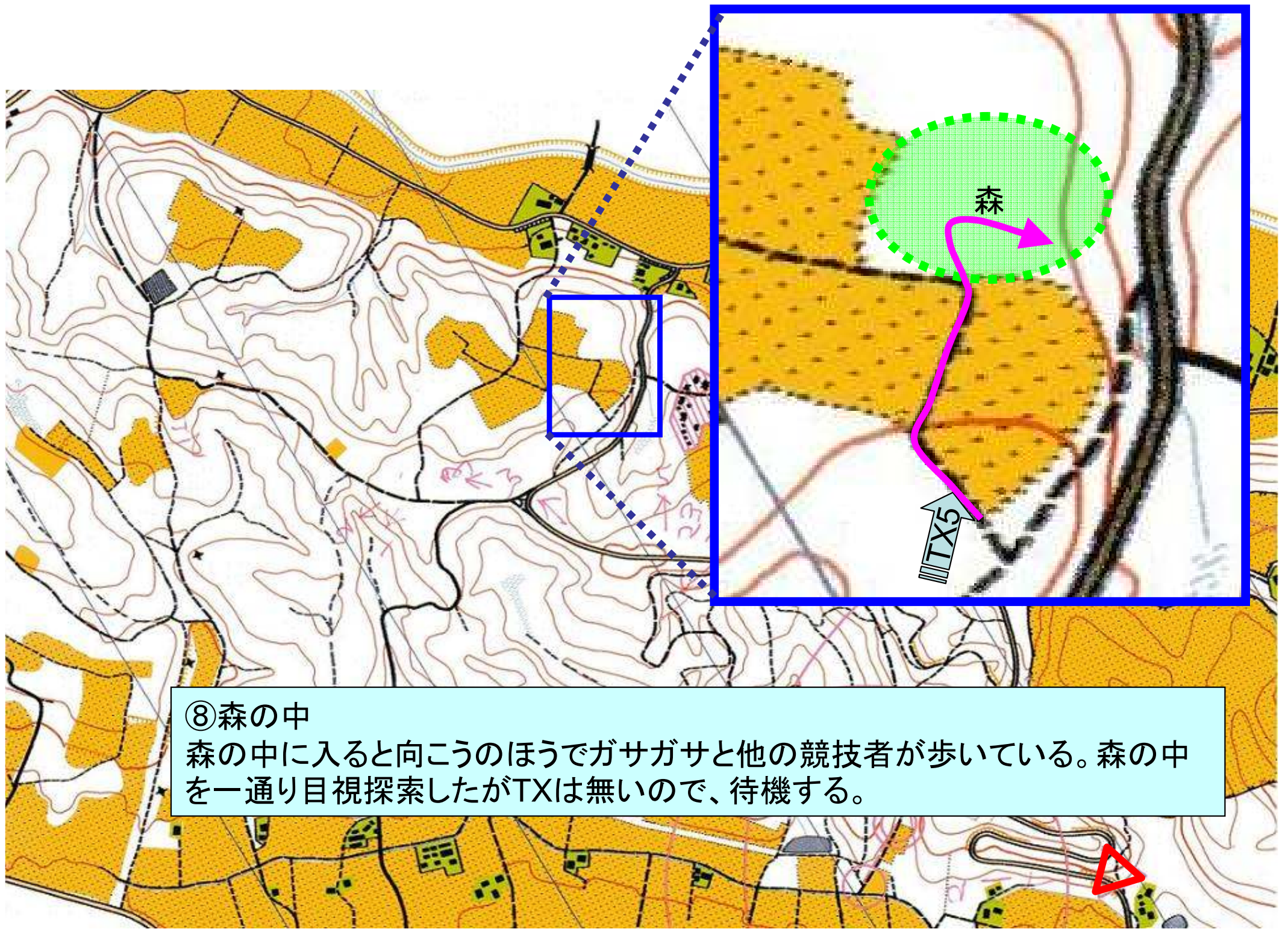
## ⑥ 鉄塔分岐

TX5は鉄塔分岐を東方向に下ったあたりと推定。鉄塔分岐あたりで確認方探し、下ることを決定。道の若干左側の方向なので、ちょうどその方向の山道を下る。



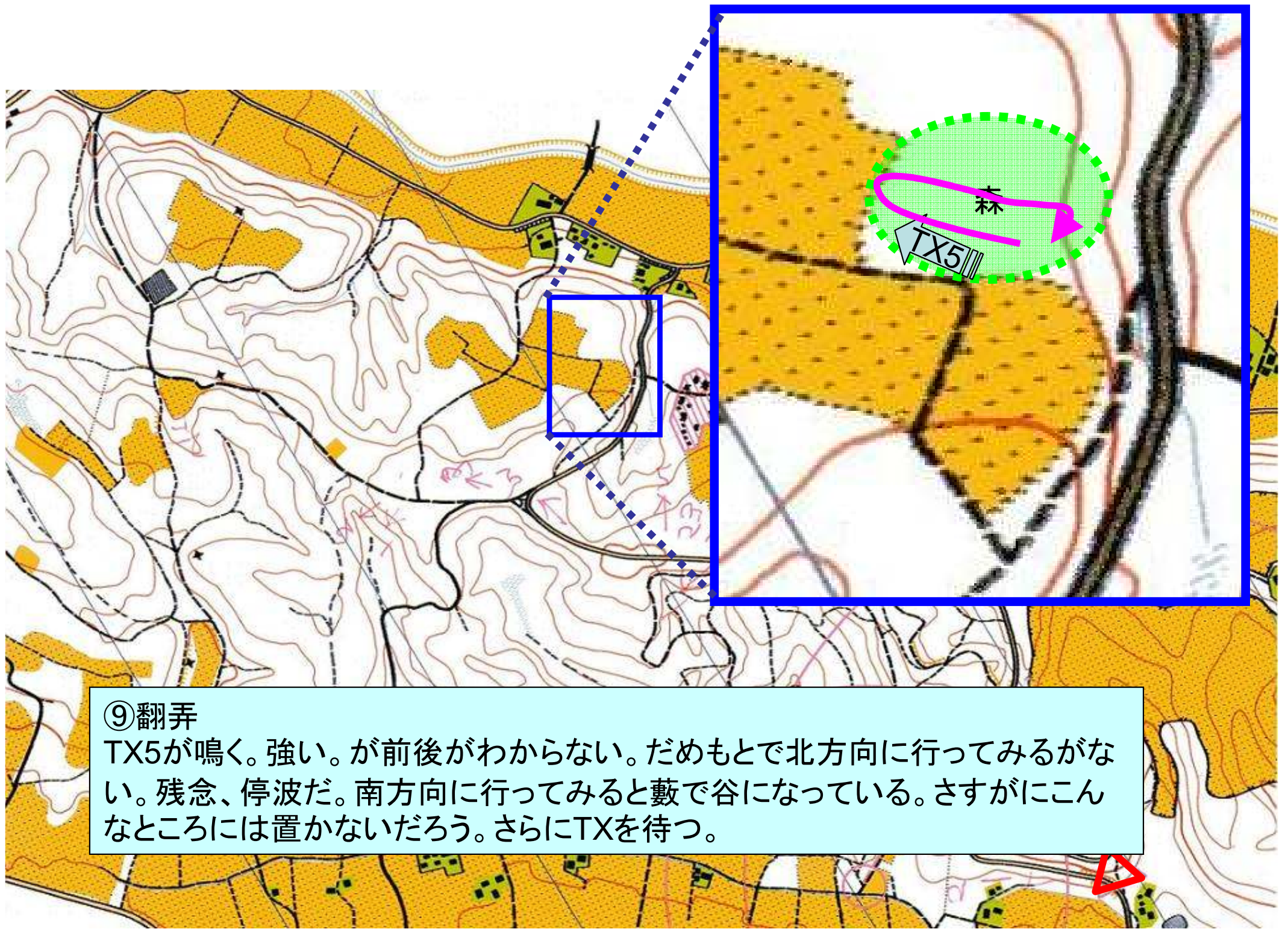


⑦山道が終わる  
山道が終わるところでTX5が鳴く。開けたところの向こう側の森の中と見た。



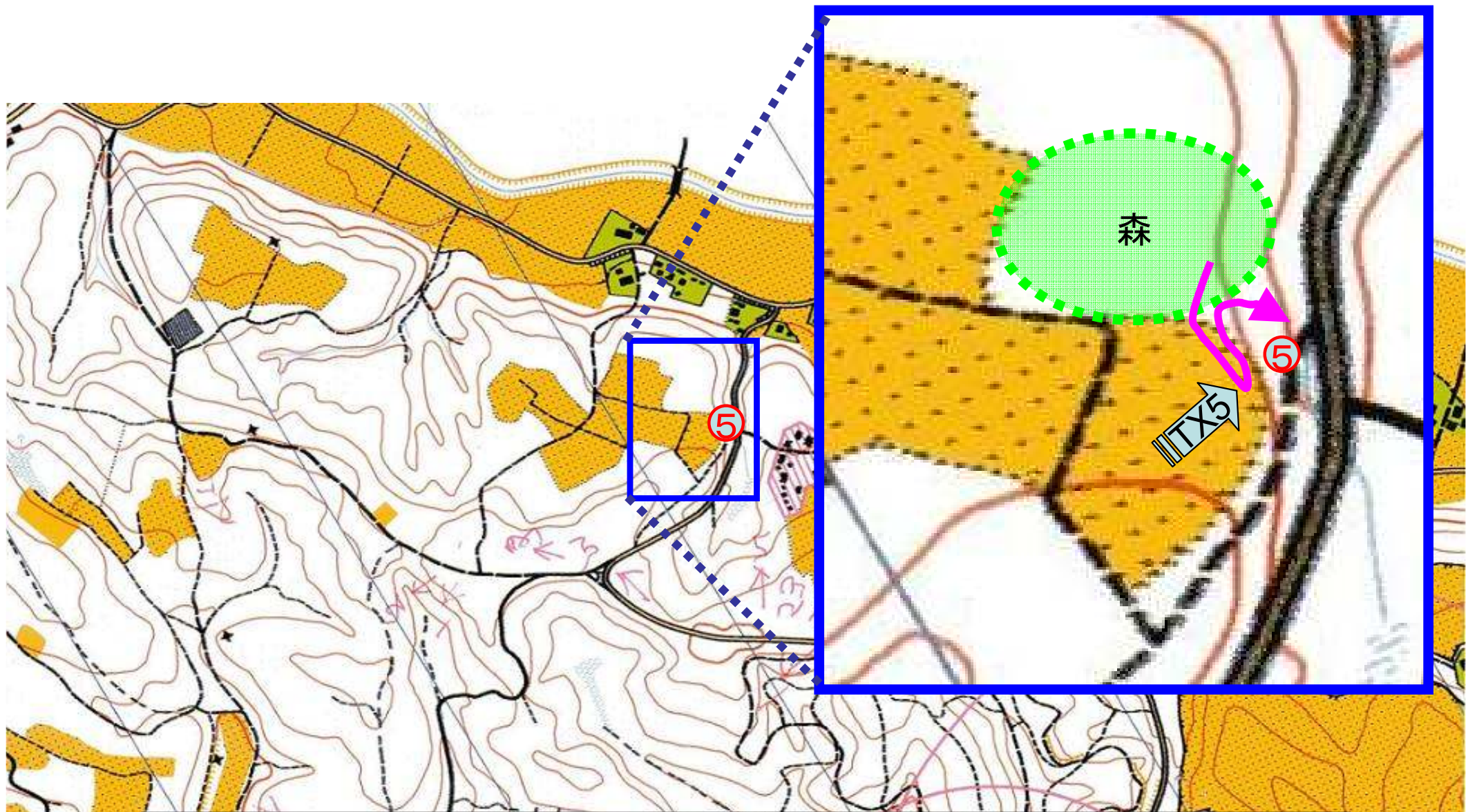
⑧森の中

森の中に入ると向こうのほうでガサガサと他の競技者が歩いている。森の中を一通り目視探索したがTXは無いので、待機する。



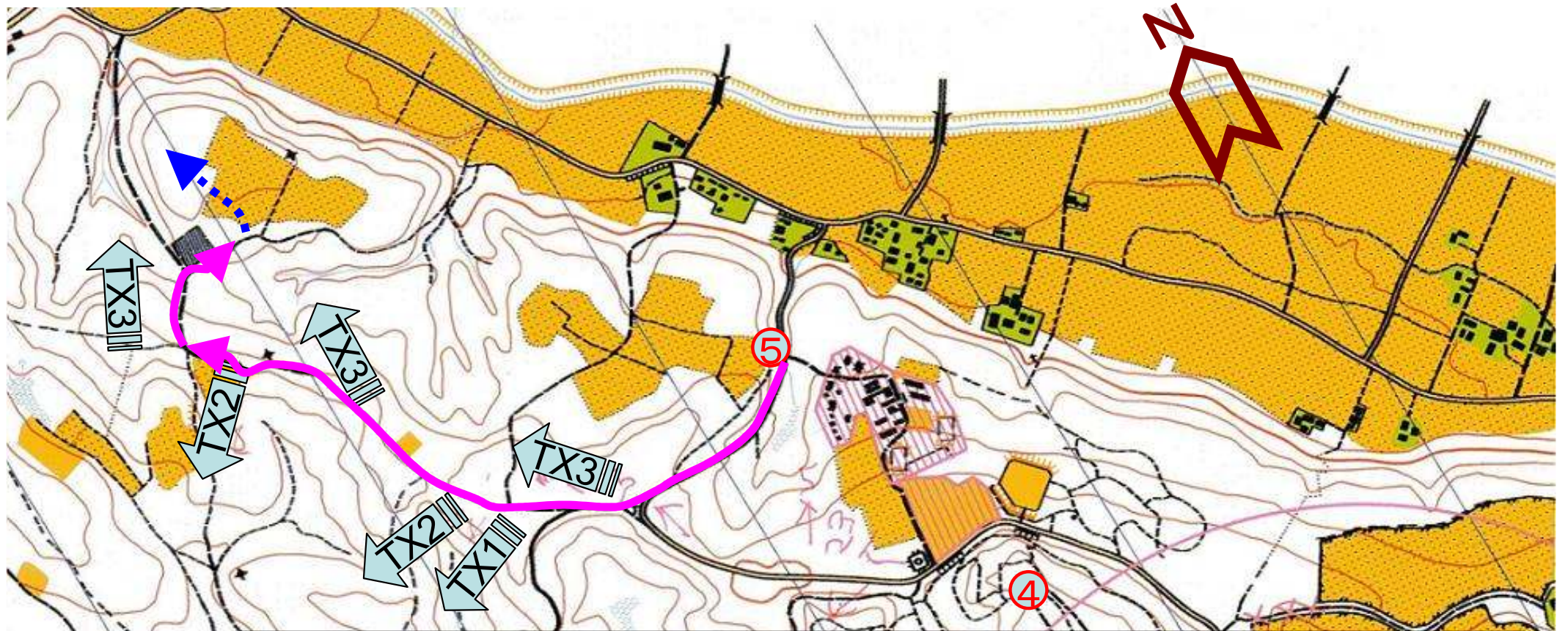
⑨翻弄

TX5が鳴く。強い。が前後がわからない。だめもとで北方向に行ってみるがない。残念、停波だ。南方向に行ってみると藪で谷になっている。さすがにこんなところには置かないだろう。さらにTXを待つ。



⑩TX5

森を出て動きやすいところで待つ。TX5が鳴く。強い。しかも崖下。やられた。降りられるところを探し、やっとの思いで降りる。なんだ車道の道脇では無いか。TX5ゲット。



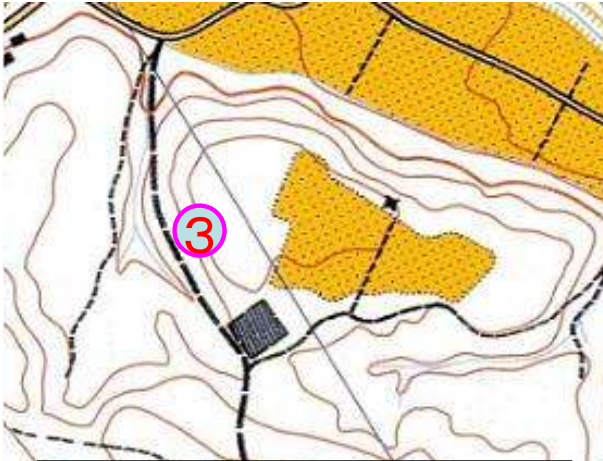
⑪ TX3へ向かう

車道で鉄塔分岐まで戻る。TX2とTX3は電線を避けてきちんと方探する。TX3はもう一本北側の車道を下ったところらしい。突き当たりまで行き方探。TX3は右に降りたところ、TX2は左に下りたところだ。右に降りていく。すると分岐がある。TX3の方向はどちらかというとな左方向に近い。Mさんが分岐を右に入っていくのが見えたので、自分は左方向に行こうと考えるが、分岐にきたところで左はずっと下りなので、右方向の道からアプローチする方法を考え、右に折れる。



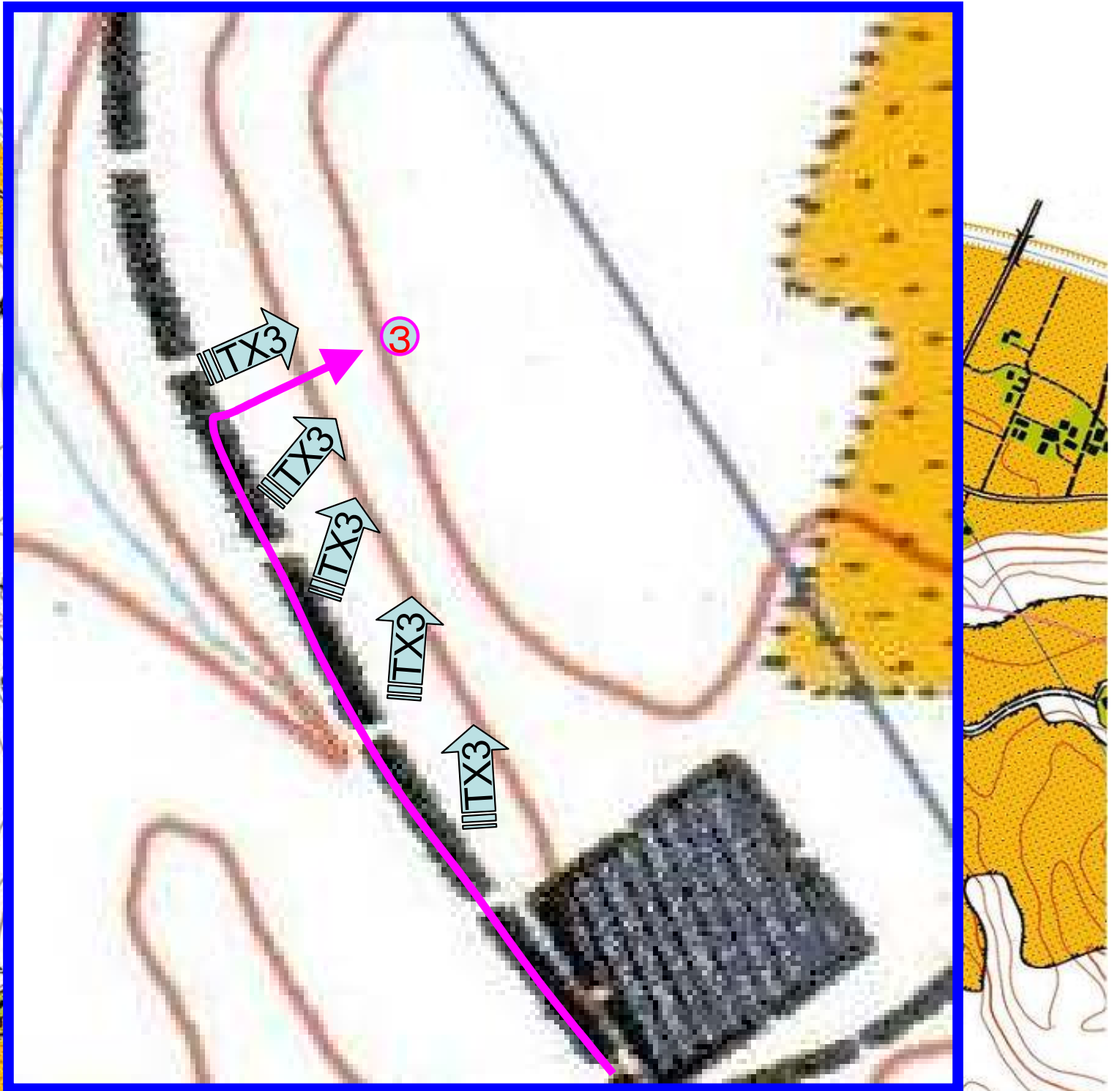
⑫農地

建物を過ぎたところでTX3方向をみると、広大な農地。ここを横断するのは大変で、少なくとも設置者が通ったとは思えない。そこで分岐まで戻ることにする。



### ⑬TX3

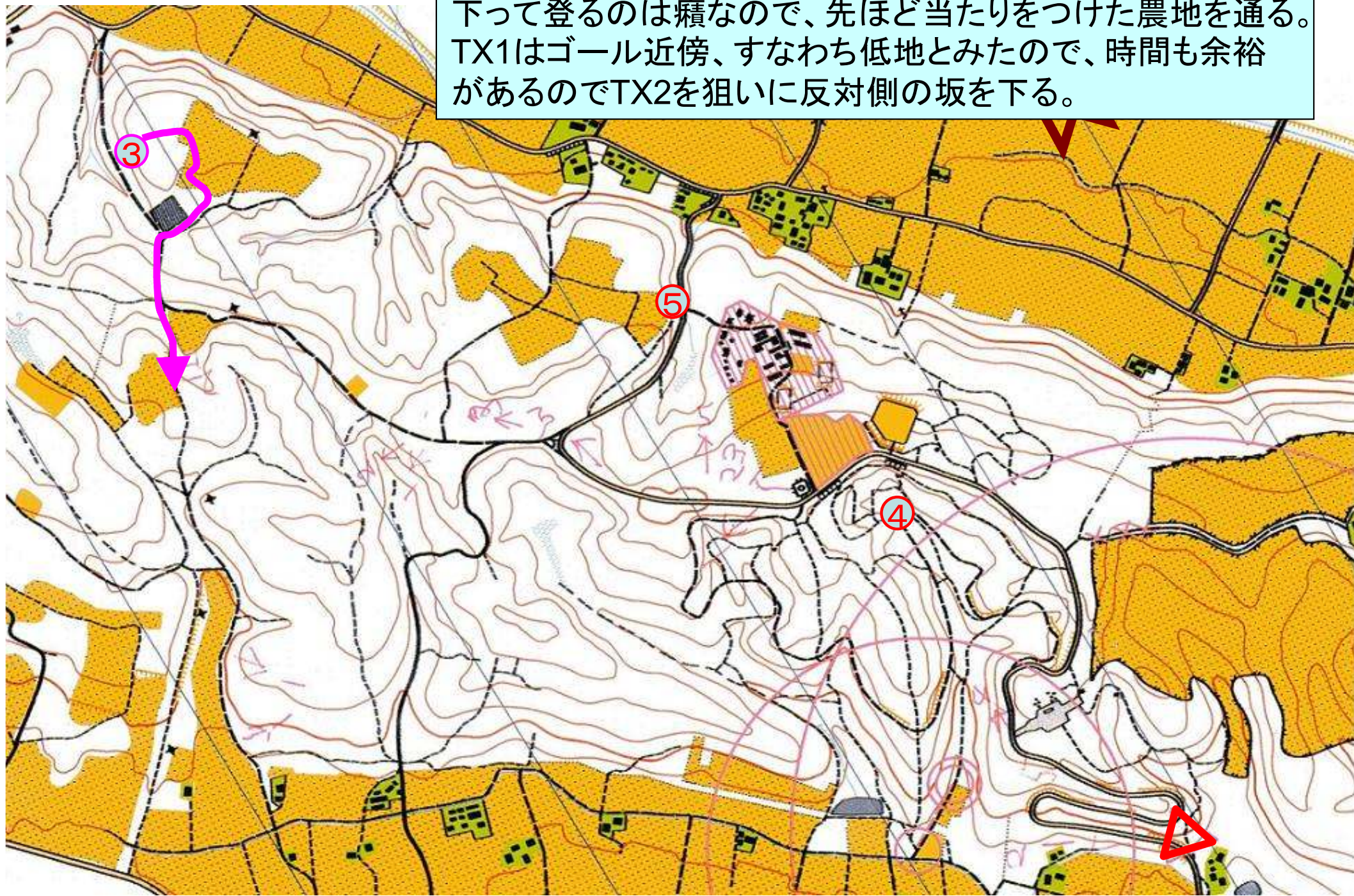
左の車道を下りていく  
ところでTX3が鳴く。  
強い。右の崖の上だ。  
TXの方向が道と直角  
になるまで我慢して坂  
を下ってから、方位を  
見定め崖をのぼる。  
停波したが、崖をまっ  
すぐ登ると目の前にフ  
ラッグ。  
これぞ80mの醍醐  
味！。TX3ゲット。





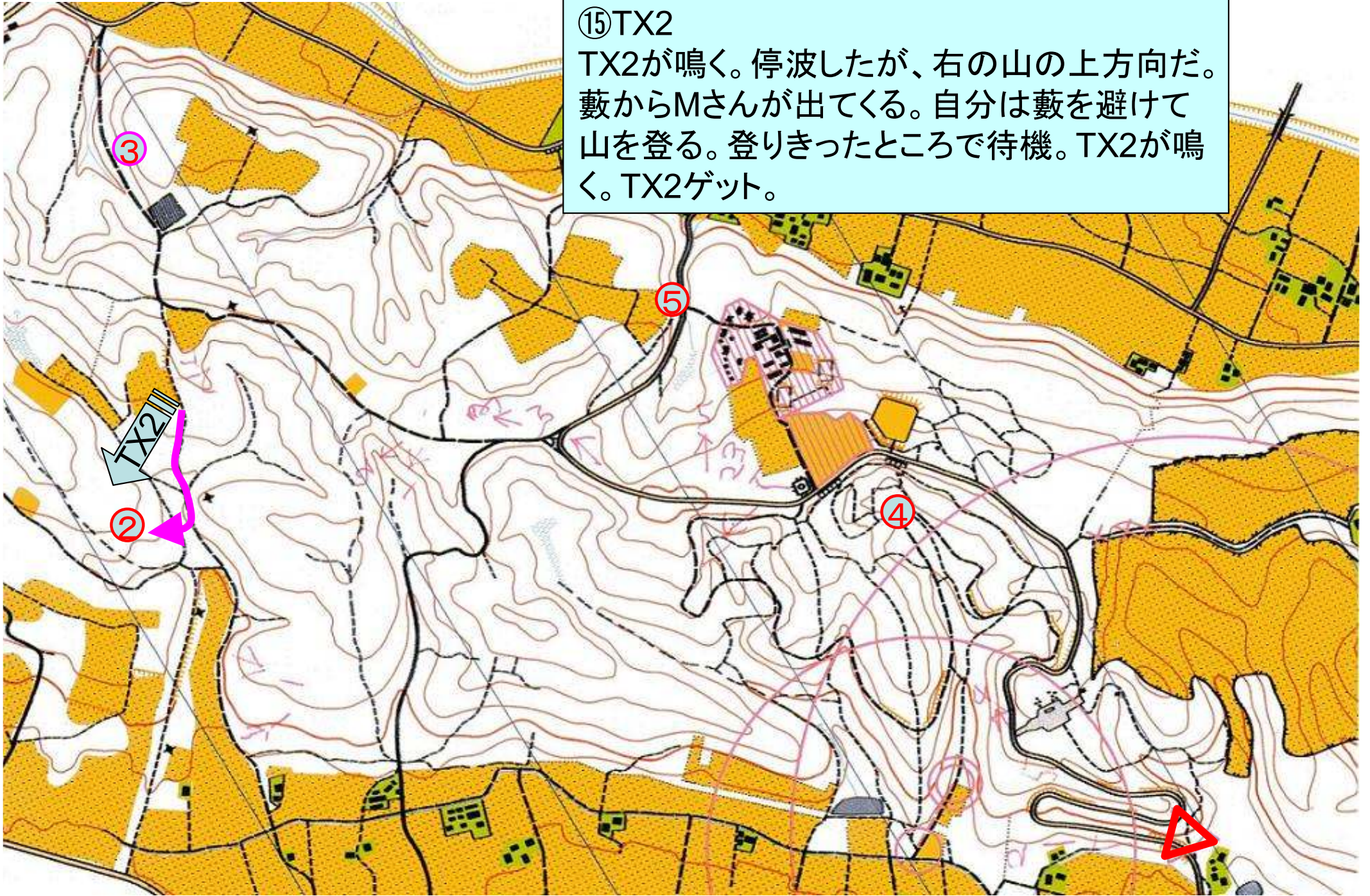
#### ⑭反対側の坂

下って登るのは臙なので、先ほど当たりをつけた農地を通る。TX1はゴール近傍、すなわち低地とみたので、時間も余裕があるのでTX2を狙いに反対側の坂を下る。



⑮TX2

TX2が鳴く。停波したが、右の山の上方向だ。藪からMさんが出てくる。自分は藪を避けて山を登る。登りきったところで待機。TX2が鳴く。TX2ゲット。



⑩TX1

TX1があると思われる道を登っていくとTX1が鳴く。まだ強くは無いが右の山方向だ。地図を見るとその方向には回り道が無い。となると行くしかないか。山を登りきったところでTX1が鳴く。その方向は藪だ。やられた。意を決してコンパスモード進むことにする。やっと藪を抜けたところでTX1が鳴く。TX1ゲット。



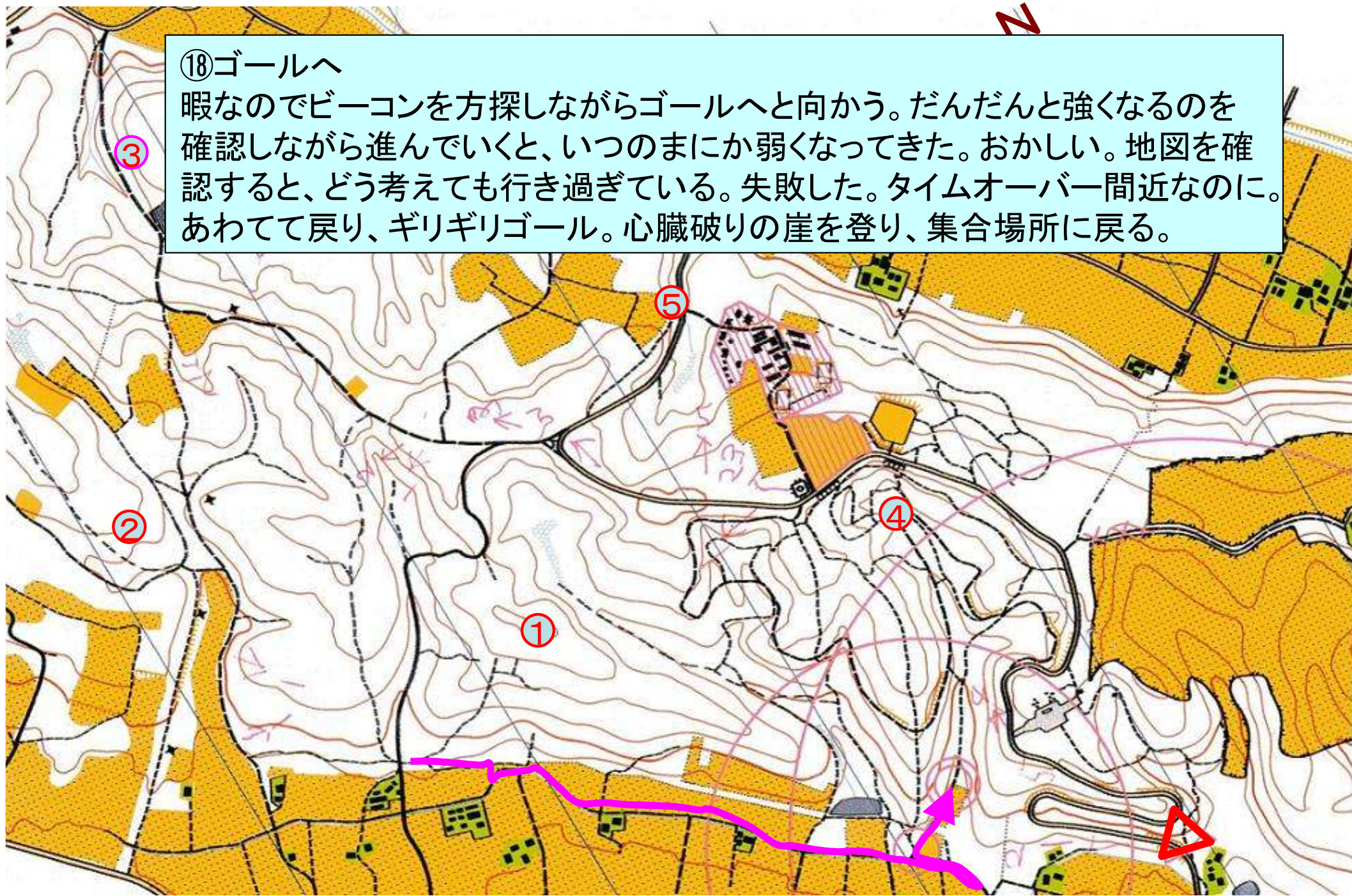
⑰下界へ

地図上の自分の位置も不確かで、来た道に戻るわけにも行かない。藪のなさ  
そうな方向へ山を下る。ようやく獣道らしき道を見つけ、道がなくならないこと  
を祈りながら下っていくと下界が見えてきた。やった生還した。

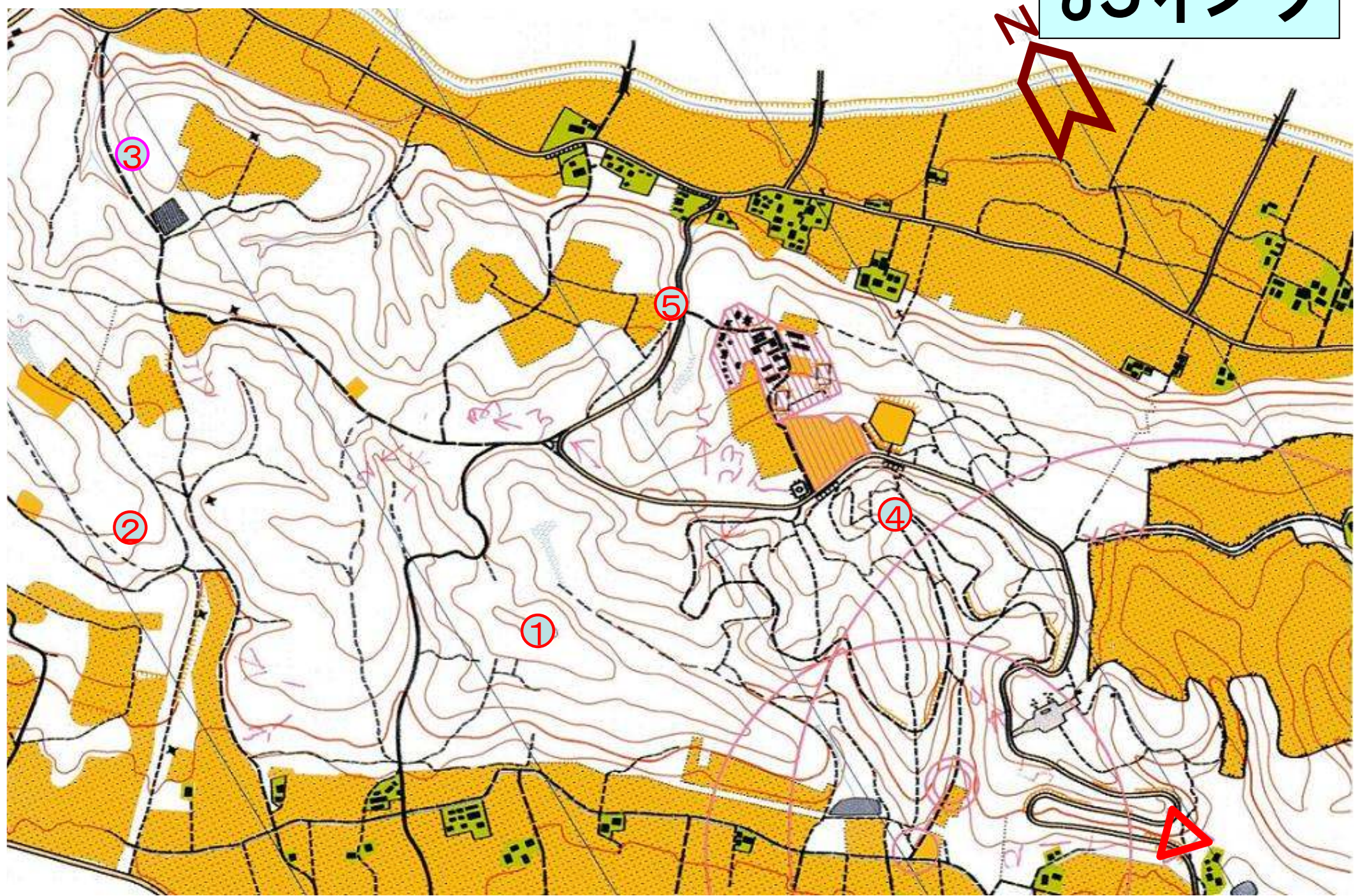


⑱ゴールへ

暇なのでビーコンを方探しながらゴールへと向かう。だんだんと強くなるのを確認しながら進んでいくと、いつのまにか弱くなってきた。おかしい。地図を確認すると、どう考えても行き過ぎている。失敗した。タイムオーバー間近なのに。あわてて戻り、ギリギリゴール。心臓破りの崖を登り、集合場所に戻る。



おわり



## 反省

◇TX5、TX3、TX1に多少翻弄させられたが、何がいけなかったのか、どうすればよかったのかわからない。

◇ビーコンを方探しながらゴールを行き過ぎたのもなぜかわからない。強いて言えば、ビーコンが寸前まで山陰近接位置にあったことで急激な方位変化が発生し、方探している範囲を超えてしまったことも考えられるが、不明である。道は見晴らしのよい下道だったので、地図上のビーコン入り口分岐を風景の中で見定めておけば防げたのかもしれない。